

授業の評価方法

各授業科目の教育目標に対する学修者の到達度を見るため、講義、演習、実験、実習、実技等の授業形態に応じた適切な評価方法及び評価基準に基づいて実施されます。評価の方法は、定期試験(筆記、口述、実技、論文、レポート等の方法を含む)、履修期間中の平常成績(小テスト、課題、授業への参加態度、予習復習等の自主的学習態度等を含む)を総合して行われます。また、シラバスには、①求める学習成果(教育目標)、②授業の内容、③授業の到達目標、④授業の計画及び授業外の学習方法、⑤成績評価方法、⑥成績評価基準などが詳細に記されています。

- ・ 成績評価の基準は、S、A、B、C、E、Fをもって表し、S、A、B、Cを合格とします。

成績評価	素点基準	単位認定
S	100～90点	合格
A	89～80点	
B	79～70点	
C	69～60点	
E	59～0点	不合格
F	(出席数不足)	

GPAの算定方法

前項の成績の評価に以下のグレード・ポイント(以下「GP」という。)を付与し、各学期ごとに全履修科目の単位あたりの平均値(グレード・ポイント・アベレージ。以下「GPA」という。)を算出します。

成績評価	GP (グレード・ポイント)
S	4
A	3
B	2
C	1
E	0
F	0

- (1) GPAの計算は、以下の計算式により算出する。(小数点第2位以下切捨て)

$$\text{GPA} = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得た GP})] \text{の総和}}{\text{履修登録した単位数の総和}}$$

- (2) 他の大学又は短期大学等における授業科目の履修等(学則第39条)、大学又は短期大学以外の教育施設等における学修(第40条)、入学前の既修得単位(第41条)に定める認定科目等については、GPAの計算の対象としない。
- (3) GPAの算出日は各学期末とし、各学期の学期GPA及び入学後の通算GPAを算出する。
- (4) 2学期連続してGPAが1.0未満の者については、学科長連携のもと、指導教員より指導・助言を行う。
- (5) 3学期連続してGPAが1.0未満の者については、学部長が学科長及び指導教員と協議した上で、文書による退学勧告を行う。(ただし、この退学勧告は退学を強制するものではない。)